

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 42, 事業名, 中長期財政運営計画策定支援事業, 戦略コード, 5, 戦略名, 環境変化に強い商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 創生プラン推進課, 担当課長名, 加藤のり子, 施策コード, 21, 施策名, 環境変化に備える中長期財政運営計画の策定

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

廃業や高齢化等による会員数の減少には依然として歯止めがかからず、会費・手数料収入についても、年々減少傾向にある。また、商工会館の老朽化による改修費用や維持管理費の増加など将来予想されるコストへの準備等について、商工会の財政基盤の強化が喫緊の課題となっている。

2. 事業のねらい

商工会財政の将来予測による具体的な分析や指標化した商工会実績データなどを基に策定した、財政シミュレーションや中長期財政運営計画策定の手順書を示し、計画策定及び改善策の実施支援を行い、長期的に安定した環境変化に強い財政基盤の整備を図る。

3. これまでの評価結果

Table with 9 columns: 過年度, H29, B, H30, B, R1, B, R2

今後の商工会財政の分析や対応策の検討のため、財政シミュレーション策定手順書を示した。21商工会からデータを収集し会員規模別の分析等を行うことで、今後の対応策の検討材料とした。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

県補助金の方向性に基づいて財政シミュレーション(現状ベース)を再点検するとともに、対応策を盛り込んだ10年間の財政シミュレーション(未来ベース)の策定を支援する。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 96 and 118.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 118, 取組コード, 取組コード, 指標名, 財政シミュレーション(未来ベース)策定支援, 指標名, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈評価の理由〉

商工会の財政シミュレーション結果及びその基となる基礎データの点検を行うことで、各商工会の現状を把握し、将来の財政運営を検討していく必要がある。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

財政シミュレーションを再点検し、今後の財政運営計画の検討材料とするためデータを整備した。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

県連合会内でシミュレーションの点検及び是正を行い、商工会の作業軽減を図った。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

21商工会で作成した財政シミュレーション結果の点検を行い、更新項目について検討した。

3. 課題

会館の老朽化による改修・解体や直近年度の決算内容、会員数の増減等、商工会を取り巻く環境の変化を踏まえ財政シミュレーションを更新し、今後の財政運営について検討していく必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

各商工会の財政シミュレーションの更新支援を行うとともに、その結果を次期商工会アクションプログラムの策定に活用する。